

令和4年度 第1回 三種町総合教育会議議事録

- 1 開催日時 令和5年2月27日(月) 午後3時00分
- 2 開催場所 琴丘地域拠点センター 研修室
- 3 出席者 三種町 町長 田川 政幸
三種町 副町長 檜森 定勝
三種町教育委員会 教育長 藤田 良博
委員 水野 京子
委員 佐々木 孝一
委員 工藤 智穂子
委員 牧野 三千雄
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 教育次長 牧野 誠一 次長補佐 大高 博充
次長補佐 木村 将来 係長 児玉 知済
教育活動推進員 長浜 中
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議案件 1) ICT環境の整備について
2) コミュニティ・スクールについて
3) 小・中学校再編整備について

午後3時00分開会

牧野次長 本日は、お忙しい中会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。ただいまより令和4年度、第1回三種町総合教育会議を開催したいと存じます。はじめに町長よりご挨拶をお願いします。

田川町長 本日は、大変お忙しい中、会議にご出席頂きありがとうございます

ございます。また、今年度においては、懸案であった、中学校統合に向けて、検討委員会など多くの会議にアドバイザーとしてご意見いただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。ここ数年は、統合中学校がクローズアップされて、なかなか、教育の中身についてご意見をいただく機会が少なかった印象もあります。ようやく今年度基本計画に着手し、年度内に完成する見込みとなっております。次年度からは実施設計を進める事になりますので、計画通り進めるように町としてもしっかり支えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今回はICT環境の整備とコミュニティースクールなど、現状の学校教育のあり方を議論していただく機会となりますので、いろいろな考え方があろうかとは思いますが、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。また、この後も小学校の統合など、さまざまな課題がありますが、その都度皆様から変わらぬご鞭撻をいただきながら、町の教育についてしっかり進めていきたいと思っております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

牧野次長

ありがとうございました。つづいて教育長よりご挨拶をお願いします。

藤田教育長

皆様、大変お忙しい中お集まりいただきいただきまして誠にありがとうございます。今日は、協議事項を3つ用意させていただきました。一つ目のICT環境についてですが、今学校の授業が非常に変わってきております。時間が許せば、実際に学校を訪問してその様子をご覧いただきたいところでありましたが、今回は動画で授業の様子を紹介させていただきたいと思います。また、統合中学校を考えたときに将来を見据えたICTのあり方というところもご意見を伺えればと思っています。また、コミュニティースクールについては、地域とのつながりについてなど、さまざまな場面で話題になってきていますが、本町は具体的に森岳小学校のコミュニティースクールのモデル校として今年度取り組んでまいりましたので、そのことをご理解いただきながら、どのように地域と力を合わせて学校に活かしていけるのかといった

こともあわせてご協議いただければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

牧野次長 ありがとうございます。それでは、この後の議事進行を、町長よりお願ひします。

田川町長 それでは私が議事を進行してまいりますので、みなさまからの活発な議論をお願ひいたします。それでは次第の4、議事録署名委員の指名でございますが、私から指名してよろしいでしょうか。

出席者全員 異議なし。

田川町長 それでは、佐々木委員にお願ひします。

佐々木委員 はい。

田川町長 次第の5、協議事項に入ります。

協議1 ICT環境の整備について協議します。始めに事務局より環境整備の状況について説明をお願いします。

笹村主席主査

==事務局笹村が説明==

①町内小・中学校のICT関連の整備状況について資料に基づき説明

②小中学校のICTを活用した授業の取り組みを動画で紹介しながら説明（琴丘中学校・湖北小学校の2校を紹介）

==事務局説明終わり==

田川町長

ありがとうございました。ICA教育の様子や今後の展望などが事務局から説明がありましたが、皆さんからご質問やご意見、動画を見ての感想などありましたらお願いいたします。

水野委員

ありがとうございました。いろいろなものが合理化されて、先生方がアナログで準備することの多くが削減されるであろうと考えると、そこは先生方も慣れてくるとお仕事の削減

につながるのではという期待と、子どもたちにとっても、視覚から入るイメージがたくさんつくられるというところはとても効果的ではないかと思いました。子どもたちはもう、デジタルの世界に生きていくので必要だし良いと思います。また、zoomなどで不登校の子どもが別室などから授業に参加できるというのも、この時代だからできることで、そのプラス面も計り知れずあるのだろうと感じました。ただし、プラスがあれば必ずマイナスもあるもので、便利になればなるほど不便であることがなくなっていくことが教育現場としては補填していく必要もあるのではないかと少し感じました。不便から学ぶことがなくなってしまうし、脳科学者もよく言われますが、ググって調べるのと、辞書で調べるのは脳の動きが全く違うということは言われているし、不便なところから鍛えられる脳というものもあると思うのです。そういう意味で小学校は特に五感を使ってどう経験を積むかということもあると思うので、プラスとマイナスの面をしっかりと捉えながらやていければ良いなと感じました。

田川町長

ありがとうございました。プラスとマイナスの面、大事なことです。他にもご意見や感想をお聞きしたいと思います。がいかがでしょうか。

佐々木委員

もう世の中がICTという環境で小学校のみならず、保育園、幼稚園も教育が進んできています。その中で、教育に活用していく中で実際にこれを使う人、先生や子どもたちが、それを使ってどうだったかという声をもっと聞いていく必要があると思います。確かに便利なことは良いのですがそれによってどう変わったか、どう良くなったのか、課題は何なのか、その辺りの声をもっと集めて、その後の使い方の検討をしていく必要があると思います。世界の流れですのでICT環境の整備は三種町でも是非早めに進めてほしいと思いますが、そういった検討は教育委員会でもおこなって良い方向に進めていけるようにしていきたいと思いつつながら、学校の授業風景を拝見させていただきました。

田川町長

ありがとうございました。これまでの意見に関連してですが、

資料にアンケートで学校や保護者からの意見などありますが、事務局でそれらを検討したり考えていることなどありますか。

笹村主席主査

はい、先ほど水野先生からもお話のありました、不登校の子どもに対して遠隔の授業の可能性のお話がありました、実際に学校の取り組みとしては、不登校の子どもに対してタブレットを渡して遠隔授業もできますといった声かけを各学校でおこなっています。また、先ほどの授業風景の中で児童生徒の手元をご覧になっていただけたかと思いますが、子どもたちはかなり機械を使いこなしているというのが私どもの印象です。タブレットを導入するのがICT事業のゴールではなく、これをどう活用していくかという事になりますので、委員の皆様からの意見にありました学校からも活用方法の意見や要望を聞きながら、子どもたちにとってどのような環境をつくってあげれば良いのかということを引き続き検討していきたいと思っております。

牧野委員

総合教育会議の意見に相応しくないかもしれなウクライナの戦争映像を見て、子どもたちが他国に避難している中で、他国で自国の教育を受けているというのをニュースで見て、戦争はもちろん非道なことです、(教育のニュースについて) いや、すごいな、世界はここまできているのだなとつくづく思いました。是非、どこでも子どもたちが学べる環境は、ICT、デジタル技術の進歩で出来るのだということがわかりました。そして三種町のICT環境の整備も順調にいつているのではないかと思います。これを統合中学校にも反映できるように進めていただきたい。教室で今やっている中での課題もありましたけれども、統合中学校ではメディアセンターもされていきますので、本当に楽しみに思っております。計画的に進めていければ良いなと思いました。

田川町長

ありがとうございました。統合中学校でのICTの取り組みについての期待が寄せられましたが、事務局でこれについて構想などありますでしょうか。

木村補佐

はい。統合中学校で考えておりますのが、STEAM教育を軸とした教科横断型の取り組みができる校舎を目指して検討会などでも話し合いを進めて参りました。メディアセンターを中心に図書スペースが配置されており、それを取り囲む特別教室が教科を超えて調べ物や授業ができるような配置を検討中です。全館にWi-Fiの環境も備え、より学習がしやすい環境を目指して基本設計を進めているところです。

田川町長

ありがとうございます。工藤委員はいかがですか。

工藤委員

数年前から、学校訪問等で学校の様子を伺った時に、ICTの活用を何度か見てきましたが、去年見たよりもさらにこの映像で進化しているなど、その進み具合にびっくりしたというか、どんどん進んでいる印象を持ちました。勉強が苦手な子どもも、視覚からや、操作で勉強がより向上心とといいますか、興味を持って理解できるようになっていけばさらに良いと思います。自分たちが子どもの時にもこのような

ものがあればもう少し勉強に身が入ったかなと思いつつも、それを今体験できる子どもたちには、もっとのびのびと学んでほしいという思いです。あとは、タブレットにカバーを使っていたようですが、それは使用中はカバーを使えないのですか。

木村補佐 使用中も使えるのですが、キーボードをつけるとカバーが使えなくなります。どうしてもキーボードでの入力をする場面が授業の中であります。

工藤委員 カバーを使えば先ほど説明のあった落下による故障も防げるかと思ったのですが、そこはまだ課題があるということですか。

木村補佐 はい、そこが現行の機種での課題となっております。

佐々木委員 zoomの導入はどれくらい行き渡っているものでしょうか。

笹村主席主査

zoomにつきましては、すべての小中学校に各学年に一つのアカウントを配布しておりますので、今の使い方ではすべて網羅できている状況です。

佐々木委員

わかりました。今、保育園や幼稚園ですと、各種の研修はほとんどがzoomによる研修になっており、そういう意味でzoomを使える環境は必須になっているのですが、小中学校も普及しているということで安心しました。いずれ、研修や遠隔事業など様々な分野で活用できるものです。費用もそれほどかかるものでもないので今後も必要に応じた整備を検討していただきたいと思います。

田川町長

この件については学校でも対応できているということですね。

藤田教育長

はい。動画を見ていただきましたが、学校ではどんどん使おうという段階。ところが子どもたちは見てわかると思いますが操作が早いです。もう慣れているというか次々と新

しいこともできます。この良さは、今日の場面でもそうですが、例えば授業で自分の考えを書きなさいといった時に、子どもたちの考えたことが画面にバツと全員の考えが出てくる。これまではなかなか出来なかったのですね。ですが、あの画面を見て、お互いの考えはこうだが自分はこう思うというように物事を考えて検討していく、そういった中身の部分を研修していかなければならない。そういう必要性は増しています。有効に活用して何を育てるのかというという研修も進めていかなければならいと感じています。そしてまた成果も出てきてくれれば良いなと期待をしているところです。だいぶ整備も進めてきていますので、今後も進めて統合中学校にもうまく配置していきたいと思います。

田川町長

ありがとうございました。今出た意見を参考に、国の方針や町の教育大綱に基づいて、子どもたちのより良い教育環境の整備に努めてまいりますので、これからも色々なご提言などもいただければと思いますので今後ともよろしく願いいたします。次の協議に入ってもよろしいでしょうか。

委員全員

同意の声

田川町長

それでは協議2、コミュニティースクールについて、事務局から説明をお願いいたします。

大高補佐

==事務局大高が資料に基づき説明==

==事務局説明終わり==

田川町長

事務局の説明が終わりました。皆さんからご質問やご意見ありましたらお願いいたします。

水野委員

最後の説明にあった、今まで先生たちが凄くやっていたものが、地域の人たちにもネットワークが繋がるというのはすごいことだと思いますし、それが実現されているということであれば、この費用対効果も高いのではないかと思います。それから、協議会での熟議などもとてもいい取り

組みだなと思います。このような活動はどうしても協議会が形式的になりがちですが、そこに中身が掘り起こされている感じが感じられてとても良い取り組みだと感じました。これが一部の協議会委員だけでなく、地域にどう種をまいて巻き込んでいくことができるかというのが今後に期待を感じているところです。

藤田教育長

私も、熟議に参加して思ったのですが、皆さんそれぞれ何を考えているかという話は事前にしたわけではないのですが、だんだん話が進んでいくと同じような事を考えていることに気づきました。そして、実はそれらの意見が学校の教育目標に、ピッタリ合うようなことを皆考えていたということは非常に驚きでした。それは次の第3回学校評議委員会において学校評価をしている時も、活発に意見を出し話をするようになっていくところを見て、皆さんの気持ちが前向きになっていくと、非常に学校を支えていける、そういう大きな力なんだと感じています。考え方とか、気持ちとか、なかなか見えにくい事かもしれないのですが、そういう気

持ちがお互いに強くなってきている事が感じられた取り組みだなと思いました。

田川町長

今年、下岩川小学校が統合して1年目ということでしたが、下岩川は地域と密着した学校であったので、そういう意味でも統合した森岳小学校でモデルケースとして、最初のコミュニティースクールに取り組んだことはとても意義があったと思います。下岩川地域の方たちは、特に地域で子供を育てたいという意識が強いところですので、それがとても良くこの事業に作用したのではないかと思います。これを好事例として、三種町全体で推進していきたいと思っています。次年度からの計画を教育委員会でも進めていると思いますが、徐々にこの取り組みを進めていきたいと思っていますので、引き続き委員の皆さんからのご意見を頂ければと思いますのでよろしくお願いします。

田川町長

それでは、次の協議に入ります。協議3、小・中学校再編整備について、事務局より説明をお願いします。

木村補佐

==事務局大高が資料に基づき説明==

==事務局説明終わり==

田川町長

事務局の説明が終わりました。皆さんからご質問やご意見ありましたらお願いいたします。色々課題はありますが、今後進めていくにあたって早く検討した方がいい案件等ご意見をいただきたいと思います。

牧野委員

小・中学校再編整備ということで、事務局から具体的な計画をお聞きしましたが、是非この計画を進めていただきたいなという意見です、私自身校舎の新築や閉校、開校、統合をやらせていただいた経験上、計画が早ければ、早いほどいいなということは感じていましたが、今その計画も出ましたので安心しました。校章のことなど具体的なものが挙げられていますので進んでいただきたいと思います。また、このような事業を進めるにあたってスタッフの充実は必要かと

思います。そのあたりの必要性も感じているのが私の意見です。

田川町長 この件に関しては、来年度の体制を検討中であり、良い環境で仕事を進める事ができるよう考えていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

佐々木委員 これまで中学校の統合について、様々な分野の方達からの意見を聞きながらやってきたわけですが、これからは中学校建設の先にある小学校の統合について、特に八竜地域の場合は浜口小と湖北小の中間に位置する八竜中学校の校舎を小学校としていくということですが、学校の改修について、この計画でいけば、実施設計からのスタートになるでしょうか。大規模改修になると基本設計もスケジュールに考えた方がいいのではないかと思います。またスクールバスの運行については、中学校では話が進んでいますが小学校については、特に八竜地域は他の地域と違ってスクールバスの実績もないし、通学距離も変わりますのでスクールバス

の検討を早めに進めてほしいと思っています。保護者の方たちからも八竜の場合はどうなるのか心配もあるとお思います。

牧野次長

小学校につきましては来年度から検討を進めることで計画を示させていただきました。委員ご提言の通り、今年度なるべく早い段階で、改修の規模を検討して計画を作ってまいりたいと思います。スクールバスについても、初めてということで私どもも、心配しているところもあります。どのような運行形態がいいのか、中学校との兼ね合いもございますので、早めに検討していきたいと思いますのでよろしく願います。

田川町長

他にありますか。教育長はよろしいですか。

教育長

はい、今年度はその方向性を出すように早めの検討をしていきたいと思いますので委員の皆さんからもご協力をよろしく願います。

田川町長

はい、他にありませんか。本日いただいたご提言につきましては、この後しっかり検討していただきたいと思います。また、先ほども申し上げましたとおり統合中学校については来年度から実施設計と具体的に進んでいきます。それと並行して小学校も進めていく事業になりますので、我々もしっかりサポートしていきたいと思います。そして、子供たちに早く素晴らしい教育環境を提供できるように頑張りたいと思いますので引き続き皆様からのご指導をよろしく願いいたします。

田川町長

それでは協議3について終わります。ここで全体で何かご意見ご質問などありますか。

田川町長

よろしいでしょうか。質疑内容ですので次第の6、その他に入ります。教育委員会より連絡等ありますか。

木村補佐

卒業式の日程、マスク着用の取り扱いについて確認連絡。

田川町長 事務局の説明について、よろしいでしょうか。

委員全員 意義なしの声

田川町長 それではこれもちまして第1回三種町総合教育会議を閉会
いたします。皆様長時間にわたりご協議いただきありがと
うございました。

(午後4時40分閉会)

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

三種町長

署名委員